

## 基本目標Ⅱ 男女の人権尊重・擁護と健康支援

Ⅳ

計画の内容

〔基本目標Ⅱ

男女の人権尊重・擁護と健康支援〕



### 基本的施策 1 女性に対する暴力の根絶と被害者支援 (大川市 DV 防止計画)

#### 現状と課題

男女共同参画社会の実現のためには、固定的性別役割分担意識などが要因と考えられる人権侵害を解決していく必要があります。近年、ドメスティック・バイオレンス（DV）やセクシュアル・ハラスメントなどによる被害は深刻化しており、早急な対策が必要とされています。また、若年層の交際関係における暴力も発生しており、恋人からの暴力、いわゆる「デートDV」被害への対応も求められています。

市民意識調査では、DVについて「身体的暴力」を1割近くの女性が経験しているなど、大川市においてもDV被害が起きていることが示されています。しかし、DVを受けて「相手と別れた」人は少なく、子どものことや経済的な理由で我慢していることがうかがえます。また、配偶者などから暴力を受けたことを誰かに「相談した人」は32.8%で、「相談していない人」が多くみられます。「第2次大川市男女共同参画計画後期実施計画」では「相談した」人の割合を40%とすることを目標としていますが、「相談した」人の割合は前回調査とほぼ変わっていません。また、女性の「相談した」人の割合は前回調査から低くなっており、相談しなかった理由として「相談するほどのことではないと思った」「相談してもむだだと思った」などが高く、被害者自身がDVの被害を些細なことと感じてしまっている様子が見られます。

DVの早期発見に向けて、市民のDVに対する理解を広める啓発を推進します。相談窓口について市報やホームページで情報提供するとともに医療機関や商業施設と連携して周知を高める取組を進めます。関係各課、関係機関の連携、相談体制の充実を図り、より迅速で適切なDV被害者の自立に向けた支援を行います。

また、様々なハラスメント防止のため、市報やホームページを通じて市民に広く周知・啓発を行うだけでなく、事業主に対してもハラスメント防止について必要な対策を講じるよう周知・啓発に取り組むとともに、学校内で行われる嫌がらせやいじめといったハラスメントについて、児童・生徒への啓発とともに教職員の理解を深める研修等、未然防止に向けた取組を進めます。

## 主な取組

### 施策（１）女性に対する暴力の防止

No.	具体的な施策 及び事務事業名	内 容	担当課
18	DV 防止に向けた意識啓発	男女がそれぞれの人権を尊重し、いかなる場合にも暴力は認めないという意識の醸成を図るために、大川市人権週間講演会、地域人権講演会や子育て支援総合施設での啓発など様々な機会を捉えて市民への意識啓発を推進します。	子ども未来課 企画課 生涯学習課
19	デート DV 防止に向けた意識啓発	発達段階に応じた性教育とともに、デートDVについても、学校において正しい認識を持てるよう教育・指導を行います。	学校教育課 健康課

### 施策（２）DV 相談体制と被害者への支援

No.	具体的な施策 及び事務事業名	内 容	担当課
20	相談支援体制の充実	多様化する相談に対応するため、相談担当職員の専門能力向上を図り、専門相談員を配置して相談支援体制の充実を図ります。また、市関連施設や医療機関、商業施設などと連携し、DV 相談窓口のカードを設置するなど、相談窓口の周知を行います。	子ども未来課
21	関係機関の連携による被害者への支援	福岡県や他の相談機関と連携し、迅速かつ適切な被害者の保護を行います。	子ども未来課
22	DV 被害者の自立に向けた支援	関係機関と連携し、生活支援や就労等に係る相談や情報提供など、被害者の自立に向けた支援を行います。市営住宅の入居募集では、被害者世帯への抽選倍率優遇措置(単身者を除く)を適用します。	企画課 福祉事務所 子ども未来課 インテリア課 都市計画課

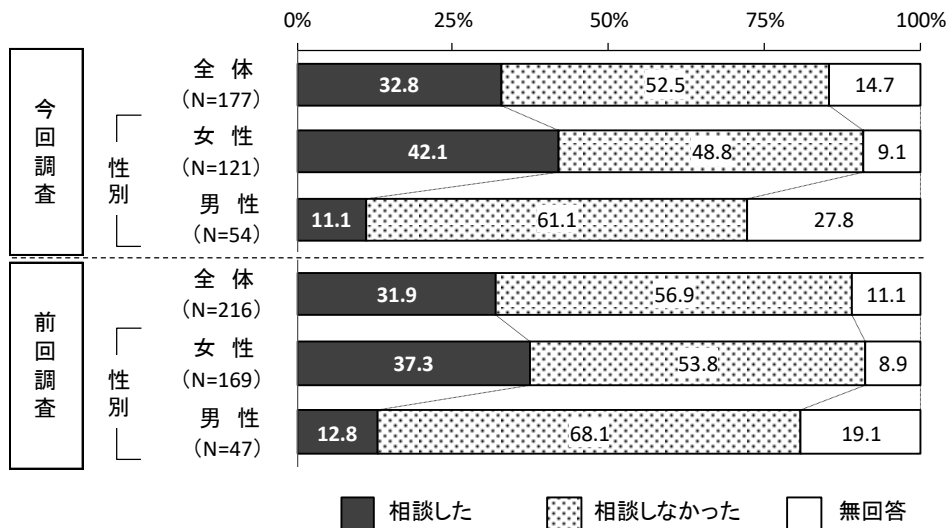
### 施策（３）セクシュアル・ハラスメント等の防止

No.	具体的な施策 及び事務事業名	内 容	担当課
23	市民に対する啓発	セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント等様々なハラスメントの防止について、市報やホームページへの掲載やポスターの掲示等により、市民へ広く啓発します。	企画課
24	事業主に対する啓発	市報やホームページへの掲載、事業主が集まる会合など機会を活用して、事業主に対しハラスメント防止について必要な対策を講じるよう周知・啓発を行います。	企画課 インテリア課

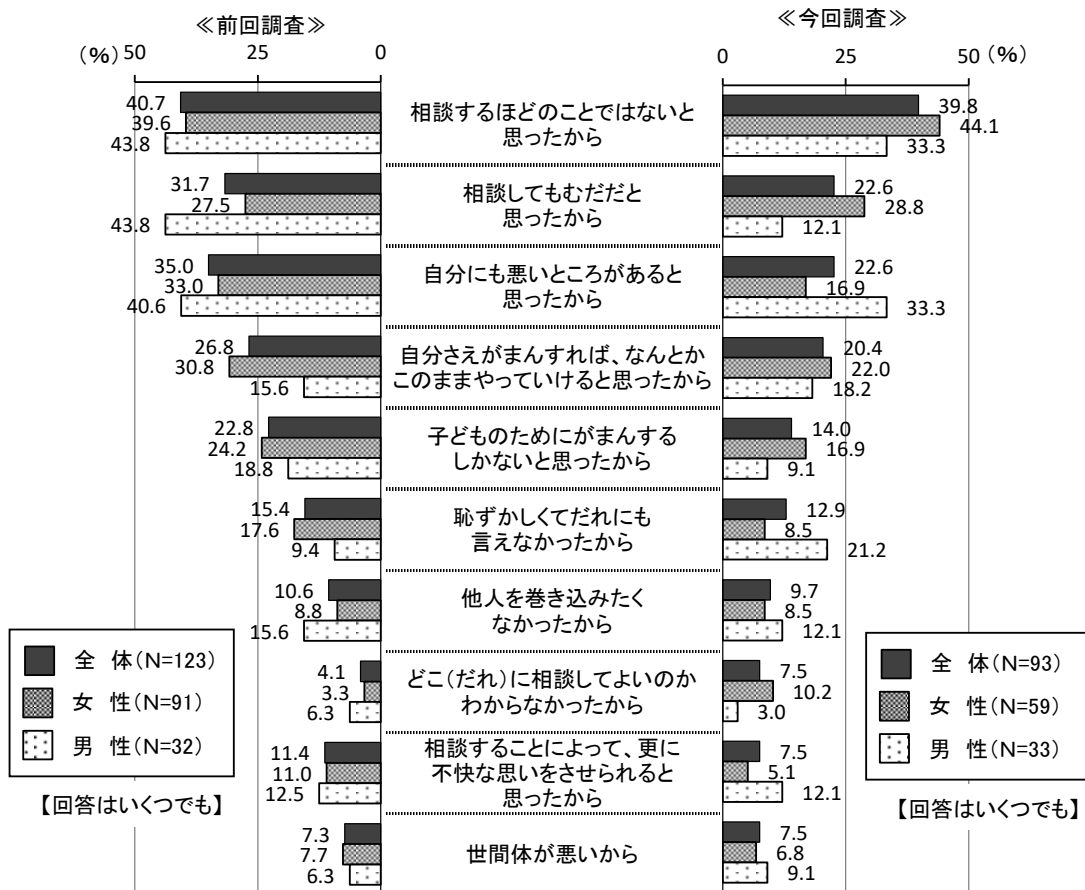
No.	具体的な施策 及び事務事業名	内容	担当課
25	スクール・ハラスメント防止に向けた取組	学校内で行われる嫌がらせやいじめといったハラスメントについて、児童・生徒への啓発とともに教職員の理解を深める研修等、未然防止に向けた取組を進めます。	学校教育課

参考データ

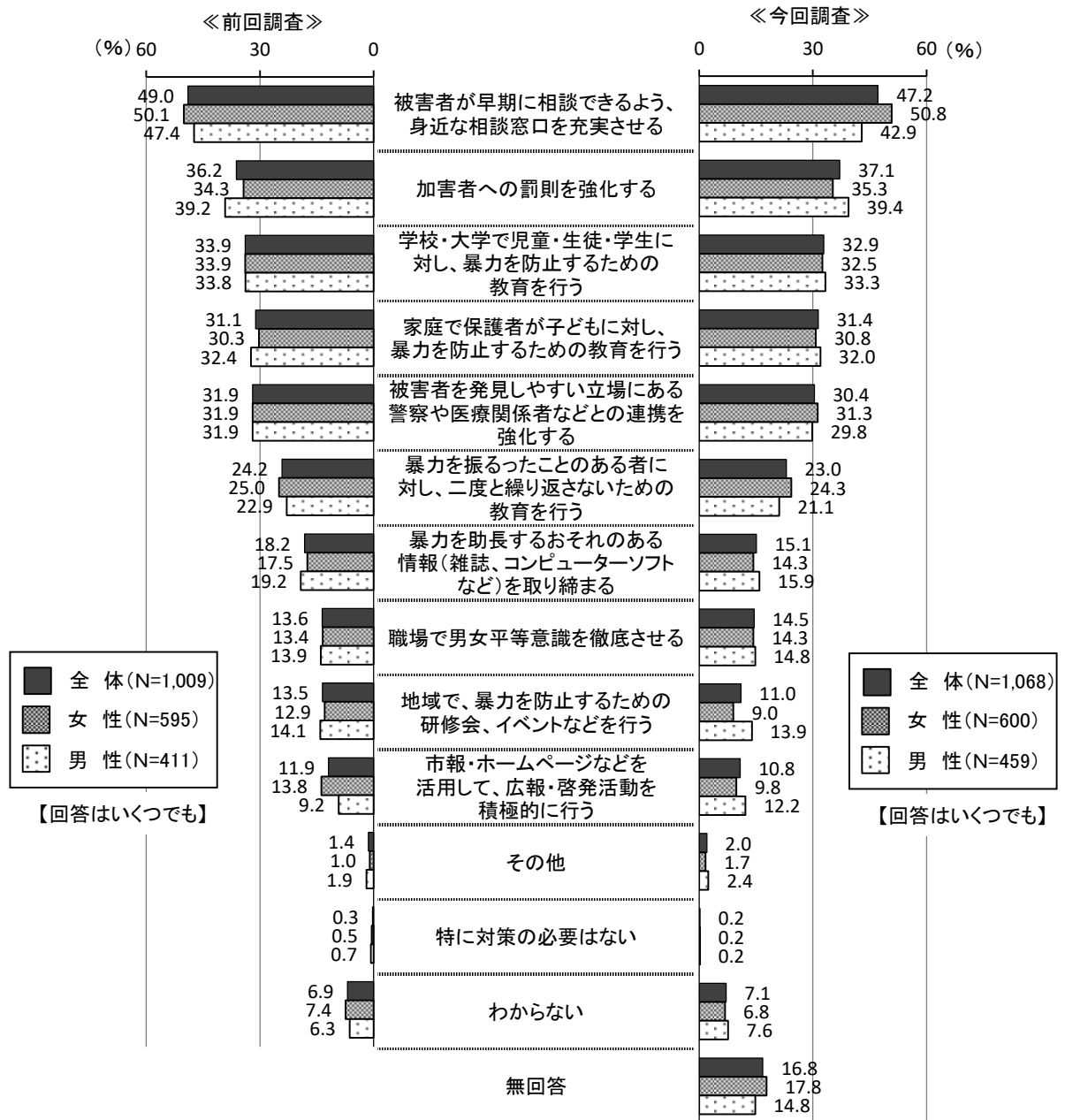
■ 配偶者や交際相手からの暴力について相談の有無（再掲）



■ 配偶者や交際相手からの暴力について相談しなかった理由（上位 10 位）



■ パートナーに対する暴力をなくすために必要なこと



## 基本的施策2 生涯を通じた健康支援

### 現状と課題

一人ひとりの人権が尊重され、心身ともに健康であることは、私たちの目指す男女共同参画社会の土台となるものです。男女がお互いの身体的特徴を理解し合い、健康でいきいきとした生活を送ることができるようにすることが重要です。

大川市では、母子保健事業や健康推進事業などを通じて、妊娠・出産期から高齢期に至るまでの健康支援を行ってきましたが、「第2次大川市男女共同参画計画後期実施計画」の目標値である「生涯を通じた女性の健康支援が図られている」（現状値 37.4%→目標値 55.0%）については、『変化があった』とする人は微減しており、目標の達成に至っていません。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ<sup>(※)</sup>についても、十分に理解が深められているとはいいがたく、市報やホームページ等を活用して基本的な概念などについて啓発を継続するとともに、関連事業のなかで啓発を行い、市民の理解促進に努めます。

思春期の青少年に対しては、リプロダクティブ・ヘルス/ライツを女性の人権として理解を深めるよう意識啓発に取り組みます。また、LGBTQなど性の多様性や子どもの発達段階に応じた性差の理解、命を大切にする心を育む性教育を推進します。

男女がそれぞれの健康状態に応じて適切に自己管理を行うことができるよう健康教育や相談体制を充実して、生涯を通じた健康づくりを支援していきます。

### 主な取組

#### 施策（1）リプロダクティブ・ヘルス/ライツの理解促進

No.	具体的な施策 及び事務事業名	内容	担当課
26	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する啓発の推進	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方について市報などで周知し、生涯を通じた女性の健康支援の重要性について市民の理解を促進します。	企画課
27	母親と子どもの健康支援の充実	子育て支援総合施設において、妊婦健康診査、乳幼児家庭訪問指導、乳幼児健康診査及びパパママ教室などにより母親と子どもの健康支援を充実します。	子ども未来課
28	発達段階に応じた性教育の充実	LGBTQなど性の多様性や性差に関する正しい理解や生命の尊厳、男女相互の尊重など、発達段階に応じた性教育の充実を図ります。 また、デートDVやセクシュアル・ハラスメント等女性を巡る暴力についても正しい知識の普及に努めます。	学校教育課

## 施策（２）ライフステージに応じた健康支援

No.	具体的な施策 及び事務事業名	内 容	担当課
29	性感染症などの予防の啓発	エイズや性感染症、胎児の薬害などについて、パンフレットなどを配布し、正しい知識の普及、啓発を図ります。	健康課 学校教育課
30	健康に関する相談体制の充実	電話相談の実施や福岡県が実施する健康相談の案内など、関係機関と連携し、ライフステージに応じ、健康問題や心の悩みを相談できる体制を充実します。	健康課
31	性別や年齢に応じた健康づくりの支援	年齢に応じた男女の健康課題に対応した健康づくりを支援するために、女性特有の子宮がんや乳がん等受診率向上や生活習慣病に関する健診の受診率向上を目指すとともに、性別や年齢別の健康課題に対応した講座の開催や保健指導を行います。	健康課

### 参考データ

■大川市における男女共同参画社会の変化  
(生涯を通じた女性の健康支援が図られている)

